

●木陰を利用して、ゆっくり散歩してください。今年の夏は暑くなりそうです。散歩するときは無理をせず、水分をこまめに摂ってください。

●夏の公園は昆虫の宝石箱や〜っ！

●公園には水辺や雑木林など、昆虫が暮らす場所がたくさんあります。お散歩がてら、童心に戻り、普段は見逃してしまう昆虫を探してみてもいいかもしれませんか？



①カブトムシ



②ノコギリクワガタ



③アオドウガネ



④ウチワヤンマ



⑤ナツアカネ



⑥ハグロトンボ



スズメバチに注意

●クビアカツヤカミキリの駆除にご協力ください



★クビアカツヤカミキリ

●左の写真は、クビアカツヤカミキリといって、特定外来生物に指定されている昆虫です。園内でも2019年から確認されており、駆除を行っています。公園を散策中に発見した場合にはお手数ですが、踏みつぶすなどして、可能な限り捕殺し、管理事務所までお知らせください。

現在このクビアカツヤカミキリは、外来生物法という法律で、生態系等に係る被害の防止のため、駆除の対象となっており、生きたまま移動することが禁じられています。主にソメイヨシノやハナモモなど、バラ科の樹木を食害し、枯らしてしまいます。このため、ハナモモが多いこの公園では特に注意を払い駆除を行っています。ここ数年、全国的に被害が広がり、隣接する県で問題になっています。公方公園の花桃を守るためにも、さらに、近隣のエリアへの被害を食い止めるため、ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。

古河公方公園管理事務所：0280-47-1129

●盆花としてのミソハギとオミナエシ



⑦ミソハギ

■ミソハギは、盆花としてよく使われています。そのためボンバナ、精霊花（ショウリョウバナ）などと呼ばれることもあります。湿地や田んぼの畔（あぜ）に生えていて、茎の断面が四角い特徴を持っています。公方公園でも、水辺や湿地になっている場所で見ることができます。

一方オミナエシも盆花として使用される植物です。こちらは秋の七草になっており、ススキやキキョウなどと共に観賞用の花として古くから親しまれています。



⑧オミナエシ

どちらの植物も人里にかかわりのある植物で、季節感のある人々の暮らしに深く根付いた植物なのです。

■秋の七草の覚え方

オミナエシ、ススキ、キキョウ、ナデシコ、フジバカマ、クズ、ハギ

「お好きな服は？（オスキナフクハ）」と覚えましょう。

●感染症対策の徹底にご協力いただくとともに、熱中症にはくれぐれもご注意ください。